

つなぐ、フリーペーパー

Paper Smart



Go Second Life!



vol.7 | April 2024



「ガレージ、ウッドデッキや家の漆喰の壁、車の内装など色々作っています。構想を練っている時が一番楽しいですね。9割くらい完成するとなんだか熱が冷めちゃうのですが、後からまた修正したりして楽しんでいます。」



看護師 杉本 孝昭さん

2023年1月 右人工膝関節手術を受ける
同年 10月 多治見スマートクリニック入職

Interview

今回のペーパースマートでは、スマートクリニックで看護師として働く杉本孝昭さんにお話を伺いました。杉本さんは元々ゲストとして2023年に当院で右膝の人工膝関節部分置換術を受けられ、その後看護師として入職されました。ゲストとパートナー、両方を経験された杉本さんのインタビューをぜひご覧ください。また、趣味の車、自作のガレージの写真も必見です！



DIYで作ったウッドデッキ。夏はBBQやプールを楽しんでいるそう

当院で手術を受けることになったきっかけはありますか？

4～5年前から膝の痛みが出てきました。当時勤めていた病院で外来勤務をしていた時に、足を引きずって歩いていたら患者さんからも心配されるようになったので、これじゃいかんと思い60歳の退職を機に手術をすることにしました。やっぱり自分が元気じゃないと患者さんに不安を与えてしまいますしね。それにその病院に福田先生が手術をしに来たことがあったのですが、手術室の看護師からの評判も良かったし、話してみるととてもフレンドリーだった。「足手術した方がいいよ、お父さん！」なんて言われちゃって。笑 内覧会にも来ていたので、スマートクリニックで手術をしようと思いました。まずは痛みを治したい、という思いが一番大きかったです。



自作のガレージはまさに男の隠れ家。壁は漆喰で塗られている

手術をして良かったことはありますか？

元々じっとしていない性格でアウトドアで野球、テニス、スノーボードなど体を動かすことが好きでした。手術をしてからは、痛みがなくなってやっと趣味のDIYや自動車整備ができるようになって良かったです。1月に手術をして、3月には家の中の壁を漆喰で塗ったり、夏にはウッドデッキを作っていました。手術直後は痛かったのですが、振り返ると痛みは忘れてしまいましたね。

手術後辛かったことはありますか？

手術後のことはもうほとんど忘れちゃっているのですが、やっぱり痛みですね。じっとしていれば痛くないのですが、動くたびに痛くて、それがいつまで続くのだろうという不安はありました。

自宅は日本式の家なので、座ったり立ったりするのが初めはぎこちなかったです。あと、お風呂の低い椅子に座れなかったのでパイプ椅子を使ったのですが（手術後しばらくは湯船に入れられない為）、寒いのも辛かったです。

スマートクリニックで働くことを決めた理由は何ですか？

痛みも取れて元気になって再就職を考えた時、スマートクリニックでの入院、手術、リハビリ、通院を通してパートナーの方との関わりがすごく良くて、こういう場所で働けたらなって思いました。つながりがすごく大切だなと思って。

一階のモニターで流れている映像に、第二の人生って出てくるのですが、第二の人生でここで働けたらと思って、リハビリをやりながら理学療法士の先生に相談していました。笑

ゲストとしての経験は看護師のお仕事にどのように影響を与えていますか？

術前訪問（手術前の看護師の訪問）の時に、自分もここで手術をしましてゲストに膝を見せると説得力があるみたいで、体験談を話すと安心されるようです。

これから手術を考えているゲストに一言お願いします！

整形外科の手術は生死に直結するものではなく、自分がどこまで痛みに耐えられるかという不安との戦いだと思います。確かに術後1～2ヶ月は痛みで辛いけれど、だんだん忘れていつしか日常生活を痛みなく送れるようになると思います。入院中のゲストから「もっと早く手術すればよかった」という声を聞くことがあるのですが、迷っている方は福田先生やリハビリの先生と相談して第二の人生に臨んでほしいですね。

ゲストとしての経験を看護に活かし、杉本さんらしく輝く姿は多くのパートナーにとっても励みになっています。また、手術の経験はこれから手術を受けられるゲストの皆様にとっても心強い存在なのではないでしょうか。

今回のペーパースマートでは、趣味にお仕事と第二の人生を楽しむ杉本さんの姿を垣間見ることができました。杉本さんどうもありがとうございました。



ガレージのディスプレイにはオールドカーへの愛が詰まっている